

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 池島小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価は概ね妥当である。

各種アンケートや日々の指導や情報交流を通して、児童・保護者・地域の思いや願いを把握したうえで指導に反映できている。今後も組織的な取り組みを期待する。

今年度も地域とともに、交通安全指導、福祉学習、池島ふれあいまつりと多くの行事を共にできたことに感謝している。50周年行事への取り組みにも期待する。文化的な取組は今後とも続けてほしい。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

## 学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査及び年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、  
肯定的に回答する児童の割合をいずれも 80%以上にする。  
 ➔ 経年 78.8% 校内 91%
- 年度末の校内調査において、「自分には 1 つ以上よいところがある。」と肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にする。  
 ➔ 87%
- 令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和 4 年度より 5%増加させる。  
 ➔ 86.9%から 83.4%に
- 年度末の校内調査において、「いじめは絶対に許されないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 70%以上にする。  
 ➔ 99%
- 年度末の校内調査において、「学校や学級のきまり（約束）を守っていますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。  
 ➔ 60%
- 令和 6 年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、  
肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。  
 ➔ 93.1%

○達成状況の評価が目標を上回っているところがありがたい。各種アンケート調査や実態を丁寧に分析し、成果と課題を明確にできていると考える。

○いじめに関する取組を引き続き強化してほしい。来年度以降もいじめは絶対だめだという意識をさらにもたせて、いじめを起こさないでほしい。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

**全市共通目標（小・中学校）**

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。

→36.6%

○○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上し1.00以上にする。

→

	国語					算数				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
現中1生	0.95	0.88	0.93	0.96		0.96	0.90	0.89	1.03	
現6年生		0.77	0.81	0.72	0.78		0.73	0.68	0.68	0.77
現5年生			0.72	0.66	0.68			0.74	0.60	0.68
現4年生				0.67	0.58				0.59	0.46
現3年生					0.81					0.66

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

→52.5%

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

→68.6%

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和5年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を65%、75%以上にする。

→寝ている89.5% 起きている89.5%

**学校園の年度目標**

○年度末の校内調査において、「漢字の学習をがんばった」と回答する児童の割合を85%以上にする。

→97%

○年度末の校内調査において、「算数の文章問題をがんばった」と回答する児童を75%以上にする。問題解決型の授業改善、池島タイムの運用を工夫する。

→99%

○年度末の校内調査において、「授業は工夫されていて、わかりやすい」と回答する児童の割合を85%以上にする

→99%

○年度末の校内調査において、「いろいろな教科などで、自分で考えたことを文章に表す活動をがんばりましたか」と回答する児童の割合を 85%以上にする。

→93%

○達成状況の評価は概ね達成できている。しかし、一部目標に届いていない項目についてはさらなる工夫を願いたい。各種アンケート調査や児童の実態を丁寧に分析し、成果と課題を明確にできていると考える。

#### 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○年度末の校内調査の、「授業の中で、学習者用端末を活用して学習している。」の項目（協働学習支援ツール、デジタルドリルを含む）について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、95%以上にする。

→96%

○ゆとりの日を毎週 1 回以上設定する。

→週 1 回設定したがまだ実行が不十分であった

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 100%にする。

(基準 2 とは、時間外勤務が年間 720 時間以下、月 45 時間を超える月数 6 月以下、月 100 時間を超える月数 0、前 2~6 か月の平均が 80 時間を超える月数 0)

項目	今年度	昨年度
基準 1 ※ 3	90. 48%	78. 26%
基準 2 ※ 3	100. 00%	100. 00%

#### 学校園の年度目標

○年度末の校内調査の、「あなたは、学習者用端末を活用して発表できましたか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

→95%

○年度末の校内調査の、「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

→82%

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

→76. 1%

○年度末の保護者アンケートの「学校は保護者や地域の方に学校での子どもたちの様子を十分に伝えていると思われますか。」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。

→90%

- 達成状況の評価は概ね妥当である。各種アンケート調査や児童の実態を丁寧に分析し、成果と課題を明確にできていると考える。
- 読書活動に力をもっと入れてほしい。ボランティア等も活用してもらいたい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 「いじめを許さない取組」「自尊感情・自己有用感を高める取組」は大変大切と考える。日々の先生方のご苦労のおかげで向上傾向にあることは喜ばしい、来年度以降も引き続き組織的な尽力を期待する。
- 不登校傾向にある児童への働きかけを関係諸機関と連携を深め、今後も期待する。引き続き、保護司等の地域の人材の協力も進める。
- 漢字検定計算力実態調査を活用して今後も児童の学習意欲を喚起してほしい。組織的な支援によりその学年の学習を次年度に積み残さない指導を今後も力強く推進することを期待する。
- 防災訓練に関しては、地域との連携を強化したい。交通安全指導や避難訓練の実施についても地域との合同開催等を含めて引き続き検討願いたい。
- 子どもがコンピュータを使いこなして学習していることに驚きを感じる。今後も、もっともっと進めてもらいたい。情報の取捨選択を含めて、子どもにとって安全な活用をお願いしたい。
- 来年度も新たな取組に期待する。周年行事への取組も進めてほしい。
- 児童数の減少が止まらないが、地域も応援するので一層の「学校力」の向上を今後も期待する。
- 学校再編に向けて動き出しているが、池島の良さをもっともっとだしてもらいたい。
- 複式学級が引き続き存続するということで、今年度の経験を生かして引き続き子どもたちの育成を願う。